

研究協力のお願ひ

昭和大学病院附属東病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

昭和大学病院附属東病院における、緑内障患者への線維柱帯切除術とインプラント挿入術との角膜内皮細胞減少率の比較について

1. 研究の対象および研究対象期間

2014年1月から2019年3月までに線維柱帯切除術とインプラント挿入術を受けられた方

2. 研究目的・方法

緑内障患者に対する眼圧下降を目的とした手術法として、主に線維柱帯切開術、線維柱帯切除術、インプラント挿入術などが挙げられます。

どれも侵襲的であるため、ある程度の角膜内皮細胞の減少は避けられません。日本全国の調査では、線維柱帯切除術に比べ、インプラント挿入術は内皮細胞減少率が低いとの報告が出ております。

当院でも同様に、線維柱帯切除術とインプラント挿入術を行った患者について角膜内皮細胞の減少率を比較し、全国との差異について検討いたします。

研究期間

「医学部人を対象とする研究等に関する倫理委員会」承認後、病院長の研究実施許可を得てから2019年3月1日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

2014年1月1日から2019年3月1日までに当院眼科において緑内障の経過観察のために受診している患者診療録の中から、対象患者の緑内障分類、眼圧（術前、術後1日、1週間、1か月、3か月、6か月、9か月、12か月、24か月、36か月）、既往歴、静的視野MD値、動的視野、角膜内皮細胞数、緑内障点眼スコア、白内障グレード、眼内レンズの有無、手術時間、縫合本数、LSLの有無と時期、フラップの作成位置、術中合併症、術後前房深度を対象とする。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属	職名	研究責任者氏名
昭和大学横浜市北部病院 眼科	助教（医科）	嵐 寄 薫
電話番号		
045-949-7000		